



株式会社

**良品計画** 第30期報告書 2008.3.1 - 2009.2.28

# トップメッセージ



お客様の価格志向の変化に対応できる  
構造改革に努める一方、無印良品の本質を探究し、  
全社一丸となって取り組んでまいります。

代表取締役社長

金井 政明

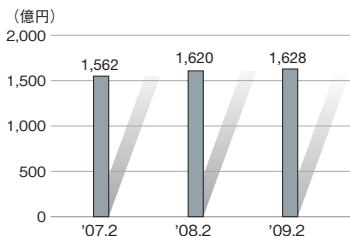
株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに当社第30期(2008年3月1日～2009年2月28日)の報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当期におきましては、「商品開発力の革新」「販売オペレーション力の改革」「海外ビジネスの拡大」「自由闊達な企業風土づくりと業務の標準化」の4つの重点施策に取り組んでまいりました。しかしながら、価格志向への変化により価格競争が激化したこと、急激な円高シフトに伴う海外子会社の利益が低迷したことなどにより、業績につきましては厳しい結果となりました。また、保有する投資有価証券の評価損も影響し、前年を下回る結果となりました。当期の営業収益は1,637億57百万円(前期比0.6%増)、経常利益は173億58百万円(同7.0%減)、当期純利益は69億36百万円(同35.1%減)となりました。当期の期末配当金は55円とし、年間配当は110円と前期に比べ13円の増配とさせていただきます。

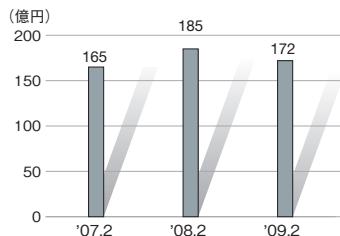
今期も引き続き厳しい経営環境ではございますが、お客様の価格志向の変化に対応できる構造改革に努める一方、無印良品の本質を探究し、業績の回復に全社一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様には今後とも格段のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

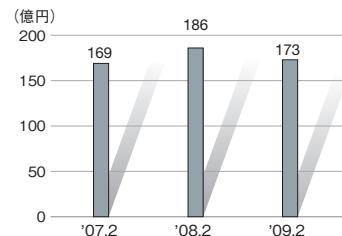
連結売上高



連結営業利益



連結経常利益



## TOPICS

### 「無印良品 窓の家」2008年度グッドデザイン金賞 受賞

「無印良品 窓の家」が、2008年度グッドデザイン金賞を受賞しました。「無印良品 窓の家」は、「窓」で切取られる固有の「風景」を大切にし、窓枠は目立たせず、壁に四角い穴をあけただけのようなデザインを採用しています。住む人の美意識に合わせて外の景色を「窓」というフレームで自由に切取ることのできる家、それが「窓の家」です。



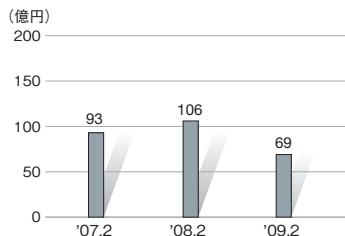
### トーネット社との新たな取り組み REAL FURNITURE 新シリーズ発売

上質な家具を適正価格で提案する「REAL FURNITURE」の新シリーズとして、ドイツの伝統的な家具メーカー、トーネット社と共同開発した商品を発売しました。

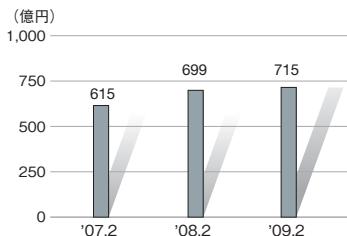
トーネット社の家具は、「多くの人に良質な家具を」という創業理念のもと画期的な美しい商品を安価で製造・販売した大衆のための家具でしたが、現在それらは凶らずも嗜好品となり価格が肥大しています。このシリーズは、トーネット社の熟練した職人技と工場を活用し、生産時の無駄を省き、流通を簡略化したもので、すばらしい家具を再び「多くの人が使え、当たり前で良質な家具」として蘇生させるための無印良品の挑戦でもあります。



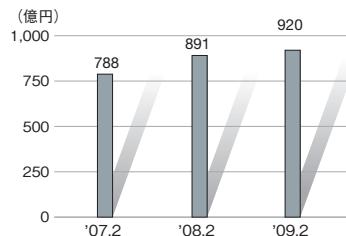
#### 連結当期純利益



#### 連結純資産



#### 連結総資産



# 2009年度の経営テーマ

2009年度の経営課題として、次の5つを掲げています。

## ①「販管費比率30%へ向けた構造改革の推進」

全社を挙げて生産性アップに取り組み、徹底的に無駄をなくし、経費構造を改革してまいります。

## ②「品質とコストのバランスの取れた商品力の向上」

従来のを超えた新しい取り組み方で商品開発を進め、圧倒的な商品力の復権を目指します。

## ③「販売オペレーションと情報発信力の改革」

売場の品揃え改革を進め、お客様にとって必要な商品がわかりやすく、買いやすい売場環境の実現を推進してまいります。

## ④「海外ビジネスの拡大に向けたグローバルなディストリビューション体制の構築」

中国・華南の物流センターに続き、上海にも同様の拠点を設置し、グローバルな配送体制を強化してまいります。

## ⑤「業務標準化の深耕」

各々が考えボトムアップによる業務改善を定着させ、店舗運営マニュアル「MUJIGRAM」、本部の「業務基準書」をより一層進化させてまいります。

内部統制の整備と運用もしっかりと遂行し、全社一丸となり取り組んでまいり所存です。

今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## ■ 販管費比率30%へ向けた構造改革の推進

全社を挙げて生産性アップに取り組み、徹底的に無駄をなくし、経費構造を改革してまいります。この取り組みは、お客様の購買行動や他社の攻勢に左右されるものではなく、当社の努力と実行力で達成できることであるため、2004年度に売上高販管費比率30%を目標に立ち上げた「30%委員会」を再び編成し、トップダウンで進めてまいります。一方、現場のボトムアップとして、良いことは2倍、無駄は半分に改善する活動「WH運動」、店舗から寄せられる「顧客視点シート」、および「改善提案」による改善活動を行い、トップダウンとボトムアップの両輪で業務の効率化を徹底して進めてまいります。

## ■ 品質とコストのバランスの取れた商品力の向上

無印良品では、常に生活者の視点でのモノづくりを進め、全商品において「なるほど!」と共感を覚えていただき、「ずっと良い値」であることを目指しています。そのことを念頭に、今後は従来のを超えた以下のような新しい取り組み方で商品開発を進めたいと考えております。



### ①「手がけた良い芽」を圧倒的に強くする。

客観的な検証とお客様や従業員の率直な意見に基づきながら、「芽のある商品」を徹底的に強化します。

### ②4つのショックをもう一度作り出す。

コンセプト、アイテム、プライス、マテリアルの4つにおけるショック(「感動」あるいは「期待を超える領域」)

を与えるモノづくりを目指します。

### ③新しい素材開発を推進する(自然素材、機能素材)。

生活をより良くするための素材の開発を始めています。さらに商品各部と品質保証部が連携しながら、工場やメーカーと直接契約を結ぶことで、お客様のために商品を作るルートを整備し、品質とコストの競争力を高めてまいります。

### ■販売オペレーションと情報発信力の改革

販売部を中心に売場の品揃え改革を進めます。加えて、売場改革を進め、お客様にとって必要な商品がわかりやすく、買いやすい売場を目指します。その中でスタッフが販売に徹することが出来るように、店舗作業を可能な限り無くし、無駄を省くことで、販売オペレーション力の強化も進めてまいります。

また、情報発信力の改革としては、Webを含めた新しい情報の出し方を強化します。特にWebはこれからの時代を担う重要なメディアであると考え、昨年10月に5ヶ国語で見ることが出来るグローバルサイト「MUJI Global」を開設したほか、今年の1月1日からは売場に流れる音楽をWeb上で聴きながら動画を見ることが出来る「play MUJI」が始まりました。世界中の人がアクセスするサイトであるため、言語を使わず動画だけで商品のコンセプトを伝えています。売場では表現が難しいことも、Webでは動画を使って伝えることができます。今後、新商品情報の配信をはじめ、効果的な発信を強化してまいります。

### ■海外ビジネスの拡大に向けたグローバルなディストリビューション体制の整備

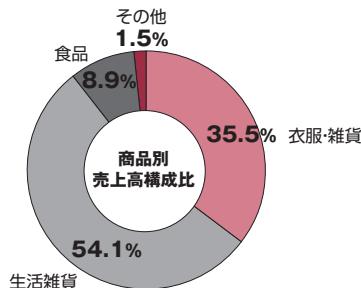
海外の強化と国内の物流合理化の推進のために新設した中国・華南の物流センターに続いて、上海にも同様の機能の拠点の設置を進めております。海外事業部と商品部が連携し、海外生産地から海外販売拠点へという配送体制の強化を進めるとともに、取引を支えるシステムも新たに稼働させ、国内への輸入や海外現地法人への輸出に関する為替リスクを抑え、リードタイムの短縮、コスト削減などの改革にも挑戦してまいります。

### ■業務標準化の深耕

業務標準化の取り組みとしてはこれまで、「“さん”付けの励行」「定時退社の徹底」「書類の共有化・データ保管」の3つを実施し、基本を徹底することで企業風土として浸透させてまいりました。これは、「強く働き甲斐のある会社」を目指し、単なる制度変更ではなく大きな風土改革の一環として取り組んでいるものです。さらに、高い目標にチャレンジする風土醸成のために、各々が考えボトムアップによる業務の改善を定着させてまいります。また、海外および国内の子会社を含め、グループ全体のコンプライアンスの徹底を行い、企業体質の強化をより一層進化させてまいります。

# 商品別営業活動の報告

生活者の視点で、機能と素材を探究した商品群が、大きく支持を集めました。



## 衣服・雑貨



### 素材感のある商品が好調に推移

当期は紳士ウェア、婦人ウェア、インナーウェア、子供服を中心とした各カテゴリーで、共通の素材を活用したモノづくりに取り組み、オーガニックコットン、フランス産のリネンなど、素材感のある商品が好調に推移しました。また、わたを梳くときに出る「落ちわた」を使用したインナーウェアも、個性を活かした着慣れた風合いでご好評をいただきました。一方、品質には妥協せず、お求めやすい価格を実現した定番品の「ずっと良い値」の商品群が振るわず、主力のニットやカクトソー、シャツ等のウェア中心に紳士・婦人ともに苦戦しました。

単品では、穿きやすさにこだわって開発された、オーガニックコットンを100%使用したオーガニックデニムパンツ(組成は綿99%、ポリウレタン1%)のシリーズが紳士・婦人ともに好調に推移し、ヒット商品となりました。雑貨では、「足なり直角靴下」を進化させた「右と左のある足なり直角靴下」、「足なりニット付きブーツ」などが伸張しました。これらの足回りの商品を集積させた「MUJI LEG」コーナーを一部店舗で展開し、ご好評いただきました。

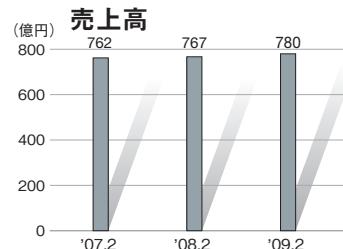
これらの結果、衣服・雑貨の売上高は511億40百万円、前期比101.3%となりました。

### PICK UP商品 ▶ 足なりニット付きブーツ

裏地をつけたり外したりして温度を調節するコートのように、季節にあわせて丈が変えられる足なりブーツです。筒の部分を折り返すことで、冬に限らず幅広く使える一足です。足にかかる負担が少ないよう、指先をしっかり包む履き心地が、大変ご好評いただきました。



## 生活雑貨



### ヘルス&ビューティが好調を維持

春の新生活プロモーションでは、積極的に訴求したベッド、布団、家電が好調に推移しました。単品では、7月に発売された超音波による振動でエッセンシャルオイルの香りを拡散させる「アロマディフューザー」、2006年の発売以来改良を重ねた「アクリル冷水筒」など、単品訴求に力を入れた商品が大ヒットしました。あわせて「なるほど!」という視点で商品の「理由」を訴求したことが、お客様にご好評いただきました。

一方で、8月に価格を見直した「脚付きマットレス」の好調から、下期はベッドを中心に主力のファニチャーが回復しつつありましたが、ファブリックスを含め、高単価商品の動向が鈍化しました。

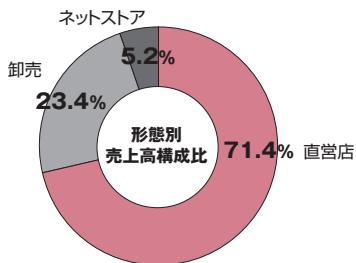
小物では、前述の「アロマディフューザー」の他、高品質で価格訴求力の高い敏感肌用の化粧水や、高保湿シリーズなどスキンケア用品が好調だったヘルス&ビューティが、年間を通して高い伸びを維持しました。一方、原材料高騰のため、値上げに踏み切ったポリプロピレンなどの収納用品やステンレス製のキッチン用品の不振で、従来無印良品が得意とするハウスウェアが苦戦しました。ステーションナリーは10月始まりのスケジュールノート、新規のアクリルデスクトップ収納用品が伸長し、回復途上にあります。

これらの結果、生活雑貨の売上高は780億79百万円、前期比101.8%となりました。

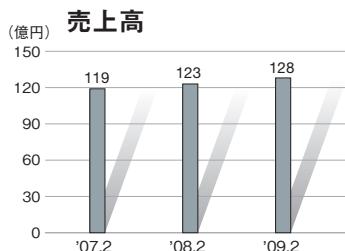
### PICK UP商品 ▶ 木製ベッドフレーム

薄く、お部屋を広く見せるシンプルなベッドです。マットレスに合わせて、収納バスケットやヘッドボードをプラスしたり脚を外して低くしたり、好みや暮らしの変化にあわせてご利用いただけます。(マットレスは別売です)





## 食品



### クリスマスやバレンタイン向けの「手作り製菓キット」が好調に推移

食品部門では、年間を通して調味・加工のカテゴリーが好調に推移しました。新規レトルトパスタソースや、「手づくりキットタイカレー」「フライパンでつくるナン」などの関連商品が好調でした。特に「自分でつくる」をテーマにしたクリスマスや、バレンタイン向けの「手作り製菓キット」が前年を大きく上回り大好評いただきました。また、新しい試みとしてカレーやパスタのアレンジレシピコンテストなども行い、お客様から寄せられた工夫を凝らした素敵な料理レシピをご紹介しました。

売上の主力カテゴリーである菓子は、生産工程の無駄を省いた「無選別しょうゆあげせん」、摂取カロリーをコントロールできる100kcal(キロカロリー)のお菓子シリーズ、味付けなしの「素のままポテトチップス」など、開発コンセプトがわかりやすい「なるほど!」商品が好調に推移しました。しかしながら、一部商品の値上げや容量の変更など、原材料の高騰に伴う様々な影響を受け、継続して厳しい結果となりました。

これらの結果、食品の売上高は128億13百万円、前期比103.8%となりました。

### PICK UP商品 ▶ 素のままポテトチップス

味付けをすることなく、じゃがいもの味を活かしました。そのまま素材の風味を楽しんでもよし、サラダなどの料理に取り入れていただけます。柚子こしょうやハーブソルトなど、別売の味付けパウダーを使っていろいろな風味を試すこともできます。食べる人が味わい方を選べるお菓子です。



## 環境・社会への取り組み

### ムリ・ムダの少ないリサイクル

無印良品はモノをつくり、モノを売る立場として、役割を終えたモノたちの行く末を考えています。その上で、ムリ・ムダの少ないリサイクルが実現できるものをご提案しています。昨年10月1日には、東レ株式会社(以下、東レ)と共同で、東レナイロン6のケミカルリサイクルを開始しました。同素材から製造されたマチ付ナイロン買物バッグ、超撥水ナイロンポンチョなどを店頭にて回収し、再びナイロン6の原料として利用するものです。また、2月19日にはダイニック株式会社(以下、ダイニック)と共同で、塩化ビニール製のスケジュールノートカバーのリサイクルを開始しました。1年で不要となるスケジュールノートカバーをマテリアルリサイクルし、ダイニックの製品である業務用塩化ビニールシートの原料とするものです。



### NPO法人子供地球基金との取り組み

NPO法人子供地球基金は1988年に日本で創立され、病气や戦争、災害などで心に傷を負った世界中の子どもたちへ画材や絵本、医療品の寄付などを行う他、世界8箇所に戦争孤児やストリートチルドレンなどのための施設「キッズ・アース・ホーム」を設置しています。特に力を注いでいる活動は、アートを用いた心のケア。画材を提供し、子どもたちが心の奥の思いを表現する、心のケアを目的としたアートワークショップを各地で行っています。当社は子供地球基金の活動に賛同し、同基金の所有する子どもたちの絵を使用した商品



を販売するなどして得た収益の一部を同基金に寄付いたしました。また、11月には子どもたちと一緒にまっ白なパズルに絵を描くアートワークショップを開催しました。出来上がった作品はキッズ・アース・ホームに寄付されました。

# 連結財務諸表

## ● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当 期 (2009年2月28日現在)	前 期 (2008年2月29日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	50,486	50,229
固定資産	41,514	38,885
有形固定資産	12,884	11,806
無形固定資産	3,574	4,257
投資その他の資産	25,056	22,821
資産合計	92,000	89,115
<b>負債の部</b>		
流動負債	20,046	18,767
固定負債	426	411
負債合計	20,472	19,178
<b>純資産の部</b>		
株主資本	72,955	68,929
資本金	6,766	6,766
資本剰余金	10,122	10,123
利益剰余金	57,030	53,009
自己株式	△963	△969
評価・換算差額等	△2,908	△1,220
その他有価証券評価差額金	△1,322	△1,535
為替換算調整勘定	△1,586	314
新株予約権	142	88
少数株主持分	1,338	2,138
純資産合計	71,528	69,936
負債純資産合計	92,000	89,115

## ● 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当 期 (2008年3月1日から 2009年2月28日まで)	前 期 (2007年3月1日から 2008年2月29日まで)
売上高	162,814	162,060
売上原価	88,890	87,927
<b>売上総利益</b>	<b>73,923</b>	<b>74,133</b>
営業収入	943	779
<b>営業総利益</b>	<b>74,866</b>	<b>74,912</b>
販売費及び一般管理費	57,643	56,332
<b>営業利益</b>	<b>17,223</b>	<b>18,579</b>
営業外収益	566	461
営業外費用	432	374
<b>経常利益</b>	<b>17,358</b>	<b>18,666</b>
特別利益	43	407
特別損失	5,285	896
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>12,117</b>	<b>18,176</b>
法人税、住民税及び事業税	6,102	7,432
法人税等調整額	△826	37
少数株主損益	△95	17
当期純利益	6,936	10,689

## ● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当 期 (2008年3月1日から 2009年2月28日まで)	前 期 (2007年3月1日から 2008年2月29日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,321	14,971
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,845	△10,296
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,104	△1,035
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,897	△306
現金及び現金同等物の増加額または減少額(△)	△4,525	3,333
現金及び現金同等物の期首残高	26,748	23,414
現金及び現金同等物の期末残高	22,222	26,748

注) 連結財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

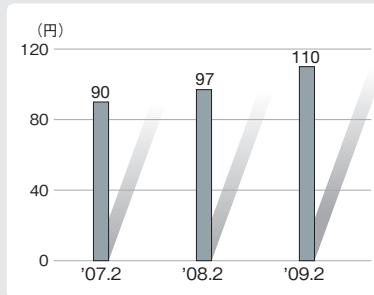
## 配当について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけており、1株当たり利益を向上させることが、責務であると認識しております。

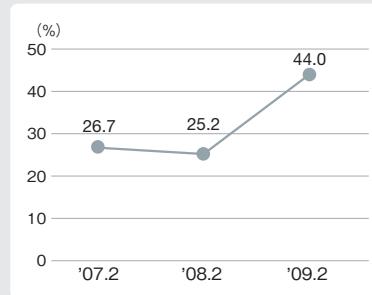
利益配当金につきましては、安定成長を続けております単体の業績に基づいた配当とし、配当性向につきましては30%（年間）を基準にしております。

この方針のもと、今期の年間配当金は110円と前期に比べ13円の増配とさせていただきます。

### ● 1株当たり配当金

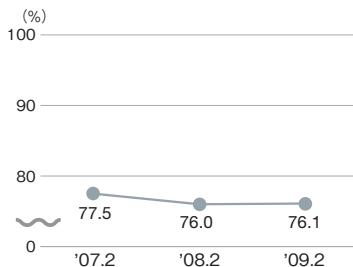


### ● 配当性向推移

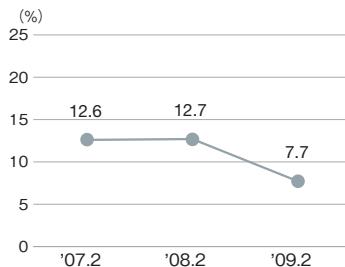


## 主要経営指標

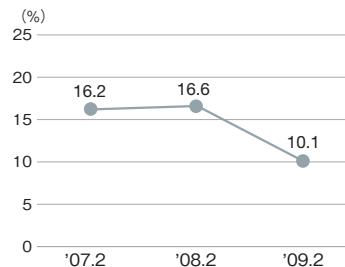
### 自己資本比率



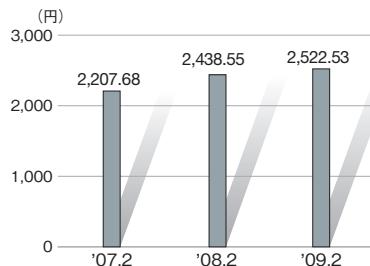
### 総資産当期純利益率(ROA)



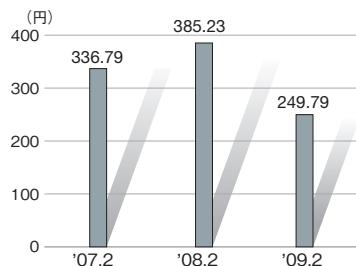
### 自己資本当期純利益率(ROE)



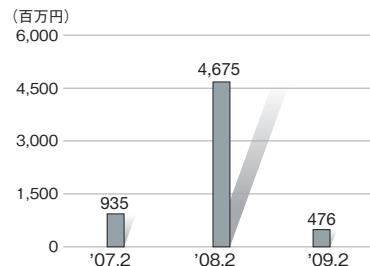
### 1株当たり純資産



### 1株当たり当期純利益



### フリーキャッシュ・フロー



# 単体財務諸表

## ● 単体貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 (2009年2月28日現在)	前期 (2008年2月29日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	43,355	40,669
固定資産	44,406	40,781
資産合計	87,761	81,450
<b>負債の部</b>		
流動負債	17,519	15,047
固定負債	269	325
負債合計	17,788	15,373
<b>純資産の部</b>		
株主資本	71,152	67,524
資本金	6,766	6,766
資本剰余金	10,122	10,123
利益剰余金	55,227	51,604
自己株式	△963	△969
評価・換算差額等	△1,322	△1,535
新株予約権	142	88
純資産合計	69,972	66,077
負債純資産合計	87,761	81,450

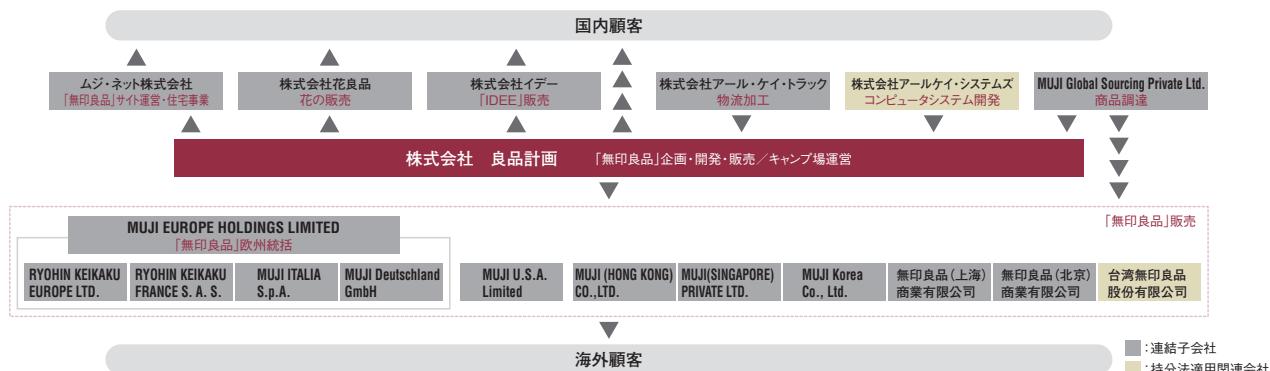
## ● 単体損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 (2008年3月1日から 2009年2月28日まで)	前期 (2007年3月1日から 2008年2月29日まで)
売上高	144,213	141,644
売上原価	80,765	79,587
売上総利益	63,448	62,057
営業収入	1,234	1,201
営業総利益	64,682	63,258
販売費及び一般管理費	48,336	45,836
営業利益	16,346	17,422
営業外収益	505	279
営業外費用	44	117
経常利益	16,807	17,583
特別利益	33	284
特別損失	5,678	816
税引前当期純利益	11,162	17,052
法人税、住民税及び事業税	5,802	6,962
法人税等調整額	△1,178	52
当期純利益	6,538	10,037

注) 単体財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ● 良品計画グループ



## 会社概要

(2009年2月28日現在)

会社名	株式会社良品計画 RYOHIN KEIKAKU CO.,LTD.
所在地	〒170-8424 東京都豊島区東池袋四丁目26番3号
電話番号	03-3989-4403(総務人事・J-SOX担当)
設立	1989年6月(登記上1979年5月) ※額面変更のため合併を行っております。
資本金	67億6,625万円
決算日	2月末日
年商	1,454億円(2009年2月期営業収益)
従業員数	4,321名(パートタイム社員3,166名を含む)
国内店舗数	直営店196店舗、商品供給店146店舗
海外店舗数	イギリス14店舗／フランス7店舗／イタリア5店舗／ドイツ3店舗／アイルランド1店舗／スウェーデン7店舗／ノルウェー8店舗／スペイン4店舗／トルコ1店舗／米国4店舗／香港8店舗／シンガポール3店舗／韓国8店舗／中国5店舗／台湾14店舗／タイ6店舗 合計98店舗 ※その他、ニューヨーク近代美術館(MoMA)デザインストアへの商品供給
主な事業	「無印良品」を中心とした専門店事業の運営／ 商品企画／開発／製造／卸し及び販売

## 役員

(2009年5月27日現在)

代表取締役会長 (兼)執行役員	松井忠三	監査役	児島政明
代表取締役社長 (兼)執行役員	金井政明	監査役	平林誠一
専務取締役 (兼)執行役員	古田正信	監査役	服部 勝
取締役 (兼)執行役員	加藤隆志	常務執行役員	徳江純一
取締役 (兼)執行役員	須田敏保	執行役員	大木宏人
取締役 (兼)執行役員	小森 孝	執行役員	鈴木 啓
社外取締役	藤原秀次郎	執行役員	田丸真治
社外取締役	植松富司	執行役員	松崎 暁
社外取締役	尾原蓉子	執行役員	亀谷哲夫
常勤監査役	松井 仁		

## 会計監査人

(2009年2月28日現在)

あずさ監査法人  
東京都新宿区津久戸町1番2号 あずさセンタービル

## 株式の状況

(2009年2月28日現在)

● 発行可能株式総数	112,312,000株
● 発行済株式の総数	28,078,000株
● 株主数	16,737名

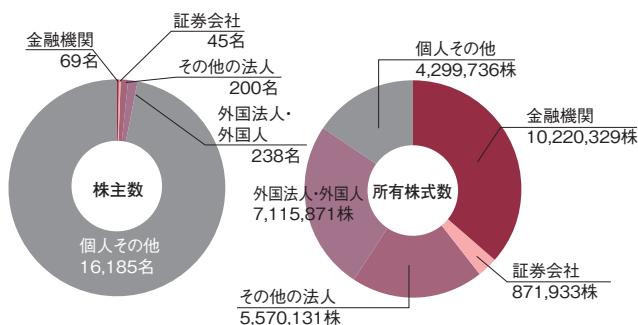
## 大株主

(2009年2月28日現在)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	2,530	9.01
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,467	8.79
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口4G)	1,961	6.99
(株)イー・ディー・エス	1,177	4.19
三菱商事(株)	1,078	3.84
(株)ファミリーマート	908	3.24
(株)クレディセゾン	631	2.25
野村證券(株)	628	2.24
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	530	1.89
資産管理サービス信託銀行(株)(証券投資信託口)	456	1.63

## 株主分布状況

(2009年2月28日現在)



注)個人その他には、自己株式1名309,730株を含んでおります。

## ホームページアドレス

企業情報ページ <http://ryohin-keikaku.jp/>

## 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日 そのほか必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日

### 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(インターネット ホームページURL)	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/ retail/service/daiko/index.html</a>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法	当社のホームページに掲載する。 <a href="http://ryohin-keikaku.jp/">http://ryohin-keikaku.jp/</a> ※やむを得ない事由により、電子公告による公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載 する方法により行います。
上場証券取引所	東京証券取引所
証券コード	7453
単元株式数	100株

### 株式会社 良品計画

〒170-8424 東京都豊島区東池袋4-26-3  
Tel.03-3989-4403(総務人事・J-SOX担当)

